

May 12, '96

参加者、

神前、鈴木、中島、並木、
町田、三浦、櫻潤(ゲスト)
お見送り、石川、

BMW RS Club

かわらばん

青梅より小淵沢そして
勝沼へ新緑を追って。
企画担当。鈴木正美

「四月の雨が五月の花をもたらす」と言いますが、桜が終わるとボタン、フジ、そして色どりも鮮やかに日本中にツツジが見事な潤いをもたらしました。文京区の我が家に近いツツジで有名な根津権現では、みずみずしい赤に鮮やかな朱、そして白。芽吹き始めたあざやかな若葉に、色とりどりのツツジの絨毯(じゅうたん)がゆるやかにうねっています。「盛りなる花曼陀羅(まんだら)のツツジかな」と高浜虚子はその花の華麗さに理想の境地をだぶらせました。私には桃やあんずの里の方が、よりそれに近いようにも思えます。今年は5月17日より旧暦の四月が始まりますが、その別名が「花残り月」また「鳥待月」。サクラ以外の花がとりどりに咲き、鳥もさえずりを待っていた月。そして我々にとってツーリング待月というわけです。

このところ天気予報がクルクル変わり、当日も今にも降りそうな朝でしたが、予報は段々に良くなるという嬉しいご信託。ところが集合地の関越道に入るや小雨となりました。雨を見越したメンバーが多かったのでしょうか、集まって来たのは6人のみ。そこへ石川さんが車でやってきて「きょう走る方は雨ですよ」との事。しかし序々に明るくなり、並木さんが中央道の双葉SAに電話をすると、雨どころか好天という返事。早速に第二集合地の圈央道「青梅」へと向かいました。途中で待機していた町田さんも加わり、レース場のようにスキスキ道路を飛ばしましたが、いや~その寒い事。暫く待っても誰も来ず、並木さんが電話をして強引に神前さんを誘い出しています。峠は濡れているといけないからとコースの変更をして、八王子より中央道へ入れ「談合坂SA」へ行き、神前さんを待ちました。この頃になると急に暑いような天気になり、早速に衣替えです。無理やりにイビリ出された神前さんを加え、10時にノンストップで小淵沢へとブツ飛び開始。ゴールデンウイークで金を使い果たしたのか、道はガラ空きで町田さんと一緒に走っていると、桃の花が終わり若葉に包まれた一宮御坂を過ぎた辺りで、鈴木さんより無線が入り、「覆面パトカーがいるので注意して下さい」との怖いアドバイス。暫く行くと運の悪い乗用車が御用になっています。更にまたも無線が入り「もう一台いるから気を付けてください」との事です。無線の嫌いな町田さんが飛ばして捕まつてはいけないと、彼の鼻先を押さえて私が前に出ました。

小淵沢では雪の残る八ヶ岳を背景に八重桜が咲き、萌えたつのような緑がむせかえらんばかりです。その緑の中を上って行くと八重桜がソメイヨシノに変わってきました。未だまだお山の中は寒いのです。峠を上り切って右折し「美しい森」を左に見ながら小淵沢駅へと下りました。若い人が段々に増えてきて「何か我々には場違いみたいな所ですね~」と三浦さんの独り言?が無線を通して聞こえています。一気に道を下って須玉へおり、そこから再び中央道へ入れて勝沼ICに向かいました。途中で神前さんが、国産バイクの若いお兄ちゃんに執拗に食いつかれていました。

勝沼のブドウ園の中を抜け、小高い丘を上り詰めると瀟洒な造りの建物が見えてきました。「ぶどうの丘」と書かれています。そのすぐ後に目指すバーベキューhausがありました。眼下には甲府盆地がどこまでも広がり、はるか彼方の方はぼんやりと霞んで見えます。ほてった体に涼風が心地よく、ベランダ風の処に座って飲んだ一口目のビールが、文字どおり五臓六腑にしみわたり、「あ~、たまらないね~」とお互いに顔を見合させました。シャブシャブと焼き肉が同時に出来るという、スグレモノの厚手の鉄鍋がドカンと置かれ、早速に野菜や肉を並べ、やや甘口のタレにつけると幾らでも食べられて、「お姉さん、お代わり!」と言った案配でしたが、そこは中年グループらしさが出て来て、「お代わりにはブタ肉の方がコレステロールが少ないよ」という注文も出てきましたぞ。

腹一杯に飲み食いをし、先程に見た隣の建物に入って各々がお土産を買い、さて帰ろうとエンジンをかけたら、何と私のバイクの後輪がパンクです。エアーボンベを出して膨らませ、走り始めたらすぐにペシャンコ。今度はタイヤーパンドーを使って空気を入れ、恐る恐る高速に入りました。最初はユックリと走っていましたが、大丈夫そうでいつの間にかスピードも上がり始めました。すると再び鈴木さんより無線が入り、「69キロポストで側道を捕まえてますよ」とのご忠告。早速にセンターライン沿いに移動をすると、暫くしてポリ公がジロリとこちらを睨んでいました。「バカヤロー、テメーになんぞ捕まるか!」と捨てぜりふのひとつも言いたい感じでした。「藤野PA」でお別れ会をすることになりましたが、町田さんと三浦さんが来ず、「ひょっとすると御用になったかな?」と話しているところに、二台が一緒に入って来てヤレヤレです。

そんなこんなで出足に少々つまずいたものの、怪我の功名で逆にノンビリとした、とても楽しいツーリングになりました。雨オジサンの鈴木さんが実行委員でしたから、これもご愛嬌というものです。いろいろと有り難うございました。無線を飛ばして度々、危難をお救い下さいまして重ね重ね御礼申し上げます。

次回は6月2日に走ります。晴天を祈っていて下さい。